

環境新聞

発行所 株式会社 環境新聞社
 東京本社 ☎(03)3359-5371
 〒160-0004 FAX(03)3351-1939
 東京都新宿区四谷3-1-3
 (第1富澤ビル)
 大阪支社 ☎(06)6252-5895
 〒541-0057 FAX(06)6252-5896
 大阪市中央区北久宝寺町2-6-7
 新規購読用 ☎(0120)1972-65
<http://www.kankyo-news.co.jp/>
 振替口座 00150-5-20286
 年間購読料 25,200円(税込み)
 ©環境新聞社 2008

資源売買の総合情報サイト

イードリーマー「リサイクル王」開設

BtoB、オープン展開

イードリーマー(東京都品川区)はこのほど、リサイクル資源の総合売買情報サイト「リサイクル王」を開設し、会員の募集を開始した。資源の排出企業と資源を必要とする企業のマッチングサイトとして、電子・電気機器、廃プラスチックなど様々な使用済み製品や資源を扱っていく方針。クロード型ではなくBtoB(企業間取引)のオープンマーケットとして展開、当面は通常会員三〇〇件の獲得を目指す。将来的には英語や中国語のサイトも立ち上げ、海外とのマッチングも実現したい構想だ。

海外とのマッチングも

リサイクル王では会員制でサイトを運営し、匿名性を維持しながら安心してネット上でのやり取りでリサイクル資源を売

買できる仕組みを構築した。従来資源等の売買は、買い取り業者が自社のホームページでアナウンスしたり、業者間の掲示板

等を活用、またはコンサルタント会社が橋渡しをする形で行われている。同サイトでは中立な同社がサイト運営に特化し、

会員が自由に取引できるようにしている。同社の関連会社であるエム・シー・エス(大阪)が中古OA機器のBtoC(個人顧客向け取引)マーケットの運営を手掛けていることから、

扱つものは当面は電子・電気機器等が中心となるが、徐々に対象を拡大し、プラスチックや金属など様々な資源を取り扱っていきたい考えた。製造業などの企業や、廃棄物処理業者などを中心に会員獲得を目指すという。

会員はフリー会員、通常会員、特別会員の三種に分類している。フリー会員は情報収集を目的とする会員で、実際に売買を行うのは通常会員、更に特典が付与されるのが特別会員となっている。通常会員は入会金二万円、年会費六万円、特別会員は入会金五万円、年会費一三万円。当面は通常会員三〇〇件の獲得を目標としている。

同社営業部の大橋元樹氏は、「匿名性を確保しながら安心・信頼を確保することが大事」と話しており、会員登録の際には審査を行う。処理業者の場合は許可の状況や環境省が進める産業廃棄物処理業優良性評価制度の認定などを参考にしていく方針だ。

国内での売買が軌道に乗ってきた後は、英語や中国語のサイトも開設し、国際的な資源売買のマッチングサイトに発展させたい意向もある。資源の高騰・不足が問題になる中、新たなBtoBサイトが定着していくか注目される。

今週の紙面

- ◆排出権取引で
経済産業省が6月に方向性…
- FC/PVEXPO特集…
- 玩具の安全性特集…
- ◆イードリーマー、
資源売買で総合情報サイト…